

輝け農業！

“水”



〔佐賀平野「水と歴史」の探検隊〕

水土里ネットさが土地

佐賀土地改良区

水土里ネットさが土地の概要

設立	昭和41年9月16日（四土地改良区による合併）
組合員数	7,755名（H29.4.1）
受益面積	9,330ha（H29.4.1）
関係市町	2市〔佐賀市、小城市〕

水土里ネットさが土地は、国営及び県営嘉瀬川農業水利事業で造成された、北山ダム・川上頭首工・幹線水路約90kmの維持管理を行うと共に、用水の有効かつ合理的な配分を行い、農業経営の安定と合理化を図っています。

管理施設

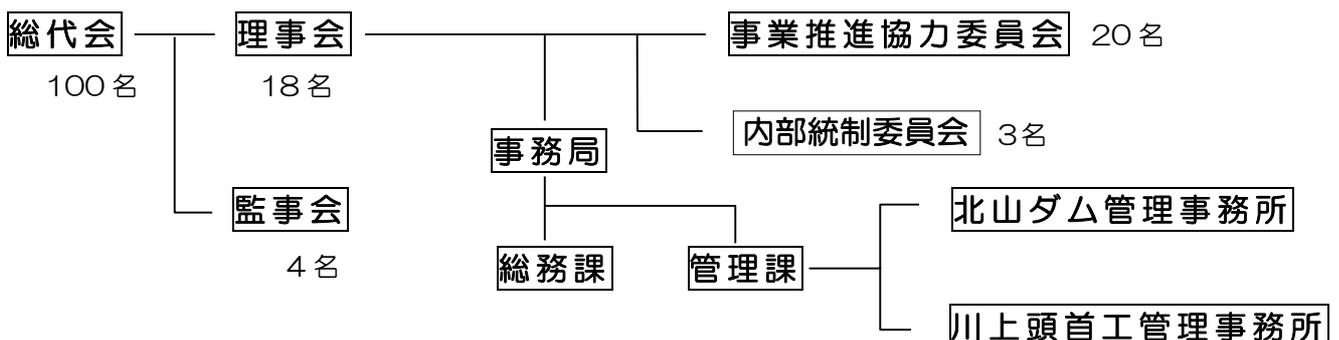
- ◎国営造成施設
- ・北山ダム・川上頭首工
 - ・幹線水路（約50km）

〔大井手幹線上流部、右岸幹線、市の江川副幹線、鍋島幹線
西水東水幹線、久保田幹線、大井手幹線下流部 計7路線〕

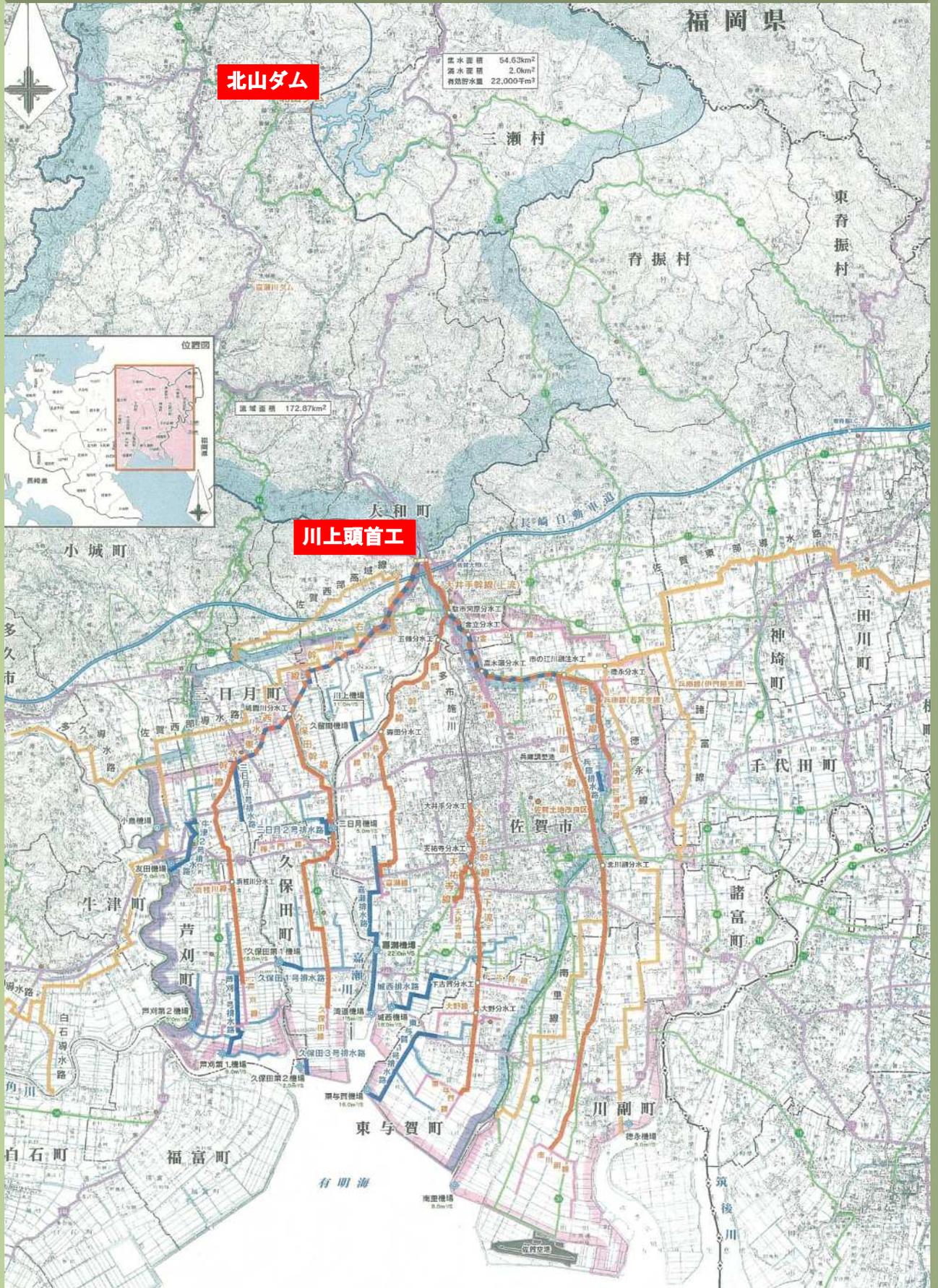
- ◎県営造成施設
- ・用水路（約40km）

〔金立線、高木瀬線、兵庫線、天祐寺線、東与賀線、荻野線
嘉瀬線、禅門線、久保田線、大野線、芦刈線、南川副線
浜枝川線、下古賀線 計14路線〕

組織図



受益図



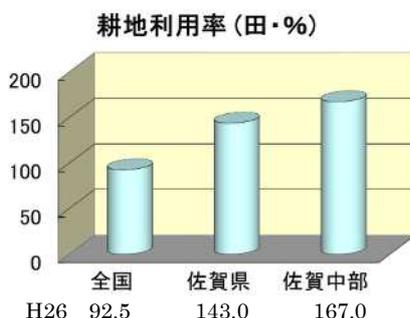
佐賀の農業

全国有数の農業地帯である佐賀平野に位置する佐賀中部地区では、米・麦・大豆など土地利用型作物を中心に、野菜（たまねぎ・いちご等）や花等を組み合わせた複合経営が展開されています。

特に、佐賀県における二条大麦の作付面積は全国第1位となっていますが、その中でも当地区は大きな割合を占めています。

◎全国上位にある主な農産物

項目名	年次	作付面積	順位	
			全国	九州
二条大麦	H27	10,500ha	1	1
玉ねぎ	H26	2,840ha	2	1
小麦	H27	9,850ha	3	2
大豆	H26	8,670ha	3	1



耕地利用率とは？

作付延面積÷耕地面積×100%で表される指標で、この値が大きいくほど耕地利用の程度が高いことになる。

さらに注目されるのが耕地利用率の高さであり、全国第1位である佐賀県の中でも特に高く、耕地の高度利用が進んでいます。稲作の生産性は、全国でトップレベルとなっています。

また、「うるち米」と「もち米」を組み合わせた全国に例のない独自の産地を形成しており、特に「もち米」の品質は高い評価を得ています。

ビールの原料である二条大麦は、ビール会社との契約栽培により高品質な麦を計画的に生産しており、日本一の産地となっています。



地区の隅々まで潤す近代化された水路（クリーク）網、整備された農地により、食料の安定供給を支えるとともに、自然環境、景観、文化の保全にも役立っています。

北山ダム

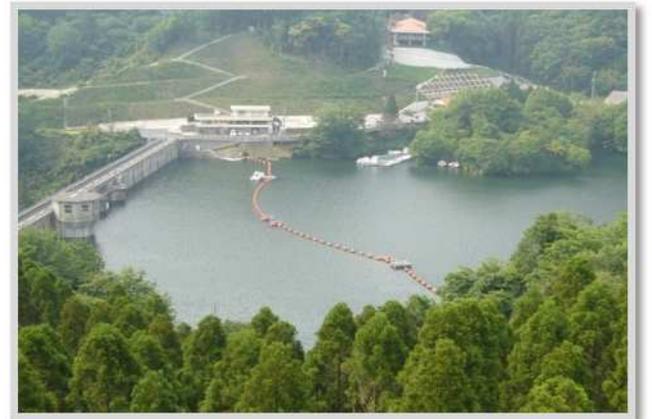


佐賀平野 11,159ha の農業用水を確保するため、昭和25年12月に着工し、昭和32年3月に完成しました。

また、農業用水以外でも発電や嘉瀬川の洪水調節にも大きな役割を果たしています。北山ダムは、満々たる水を貯え、農業用水としては九州第一の規模となっています。

・規模及び構造

型式	重力式コンクリートダム	
堰堤高	59.30m	
堤頂長	180m	
堤体積	144,826m ³	
有効水深	32.30m	
余水吐	テンターゲート	2門
取水門	スルースゲート	7門
制水門	高圧ローラーゲート	1門



- ・集水面積 54.6km²
- ・満水面積 2.0km²
- ・有効貯水量 22,000,000m³
- ・最大放水量 920.00m³/s
- ・最大取水量 13.28m³/s

**北山ダムの水は限りあるものです。
水を大切に使いましょう。**
「歩み行く ゆとりの生活 水と共に」



川上頭首工

北山ダム及び嘉瀬川の“水”を一括して取水し、2市約1万haの農業用水（最大 $19.01\text{m}^3/\text{s}$ ）を左・右岸幹線水路（約90km）に分水し、安定的に送水するため、昭和33年9月に着工し、昭和35年8月に完成しました。また、これにより国民食料の確保と自然環境の維持にも努めています。

しかし、建設以来40年以上を経過し、機能が著しく低下していた為、国営総合農地防災事業にて全面改修を行い、平成19年3月に新しく生まれ変わりました。

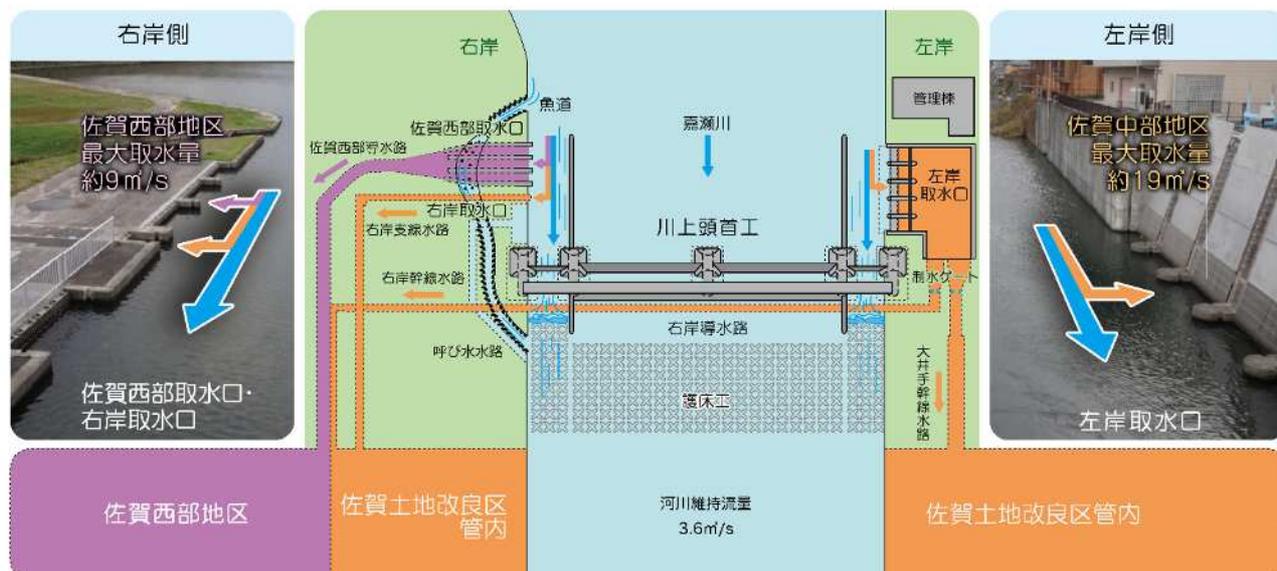


魚道



川上頭首工の管理

頭首工のゲートの操作や監視は、管理棟にて24時間体制で行います。通常は頭首工ゲートの大部分を閉じて、水を取水口に引き込みます。引き込む水の量は制水ゲートで調整します。川上頭首工を利用して、嘉瀬川の自然流量や北山ダムの水は佐賀土地改良区管内へ、嘉瀬川ダム(平成24年完成)の水は佐賀西部地区へ送水しています。また、魚道や呼び水水路等を利用して頭首工下流に河川維持流量 $3.6\text{m}^3/\text{s}$ を流しています。洪水時は頭首工のゲートを開いて、水を下流に流します。水路が溢れるのを防ぐため、取水口や制水ゲートは閉めます。護床工が強い流れから川底を守ります。



水路

川上頭首工より取水された水は各幹線水路へ分水し、各地区の受益農地に配水しています。また現在は筑後川からも佐賀東部導水路を通じて用水を補給しています。下流地区へ用水を流す途中では親水施設など地域のいこいの場としても利用されていますが、市街地をとる水路ではゴミの不法投棄などいろいろな問題も生じています。



市の江川副幹線水路



市の江注水口
(筑後川からの注水)



親水公園 (大井手幹線水路下流部)



駄市川原分水工
(大井手幹線と市の江川副幹線分岐点)



水路内への流入ゴミ

佐賀土地改良区100年の歴史

No.1

西暦	年号	土地改良区 主な出来事	その他の出来事
1890	明治23年	水利組合条例が施行される (県の直接管理下にあった水利事業について、県は条例による普通水利組合の設立を急ぐ)	
1892	明治25年	佐賀郡川副樋管普通水利組合設立認可(5月) 佐賀郡市大井手普通水利組合設立認可(10月)	
1893	26年	芦刈水道普通水利組合設立認可(3月)	明治27~28年 日清戦争
1909	42年	水利組合法公布 大井手普通水利組合と改称(2月)	
1923	大正12年	大井手普通水利組合 電気かんがい方式を導入 (足踏水車→揚水機械化) 写真1	大正12年 関東大震災
1949	昭和24年	土地改良法の制定(水利組合を土地改良区に組織変更) 国営嘉瀬川土地改良事業 着工	昭和19年 干ばつ 昭和20年 太平洋戦争終戦 昭和24年 水害
1950	25年	東芦刈土地改良区設立(6月) 西芦刈土地改良区設立(7月) 大井手土地改良区設立(8月) 市の江土地改良区設立(12月) 北山ダム 工事着工 写真2	昭和28年 水害 写真8
1957	32年	北山ダム完成(発電用放水開始) 写真3	
1958	33年	川上頭首工 工事着工 写真4 嘉瀬川土地改良区連合設立(4土地改良区による)	
1959	34年	北山ダム 国と連合との間に管理委託協定を結ぶ	
1960	35年	川上頭首工 完成 写真5	
1961	36年	国営幹線水路 工事着工(~48年完了) 写真6	
1964	39年	県営嘉瀬川農業水利事業 着工(~60年完了)	昭和39年 東京オリンピック 昭和40年 佐賀県米作日本一
1966	41年	佐賀土地改良区設立(4土地改良区の合併)	昭和42年 干ばつ
1973	48年	国営事業管理委託協定を国は佐賀土地改良区と結ぶ	昭和51年 若楠国体 昭和53年 干ばつ 昭和57年 干ばつ
1976	51年	国営筑後川下流土地改良事業着工	
1987	62年	県営事業管理委託協定を県は佐賀土地改良区と結ぶ	
1990	平成2年	国営総合農地防災事業着工 写真7	平成2年 水害 写真9 平成6年 干ばつ 写真10
2002	平成14年	川上頭首工改修工事着工(農地防災事業)	
2011	平成23年	国営総合農地防災事業完工	
2016	平成28年	佐賀土地改良区設立五十周年	

1 足踏水車



6 幹線水路完成



2 北山ダム工事中 昭和25年



7 農地防災事業 水路改修



3 北山ダム完成 昭和32年



8 昭和28年水害



4 川上頭首工工事中 昭和33年



9 平成2年水害



5 川上頭首工完成 昭和35年



10 平成6年干ばつ



みどり

水土里ネットとは？



みどりの
水土里ネット = 土地改良区



水土里ネットは土地改良区の愛称です。

「水」……農業用水、地域用水など。

「土」……土地、農地、土壌など。

「里」……農村空間。農家や地域住民が一体となった生活空間など。

『水土里』……豊かな自然環境、美しい景観を意味し、おいしい水、きれいな空気など清廉なイメージを表現しています。

- ◎水土里ネット（土地改良区）は全国におよそ 7,000 もある農家の組織です。
- ◎この水土里ネットでは、地球 10 周分にも相当する農業水路の点検補修・清掃等の管理を行っています。
- ◎また一枚一枚の農地への用水配分を通じ、私達が生きていく上でなくてはならない食糧を確保するとともに、農村の豊かな自然や美しい景観を維持してきました。

「21世紀土地改良区創造運動」とは？



近年、都市化や混住化の進展などにより、水路の水質悪化やゴミ投棄問題など、農村環境の悪化が進んでいます。現在、人手不足と財政難に直面している私達水土里ネットはその対応に苦慮しています。

もし、水土里ネットがなくなったら、食糧生産に問題が起きるばかりではなく、国民共有の財産でもある豊かな田園空間も失われてしまいます。

そうならない為に、洪水を防止したり、水資源を育んだり、人の心を癒したりする農業・農村が持つ多面的機能を保たなければなりません。これからは、農家と地域住民が一体となった水路等の管理体制を作ることが必要です。

このような状況の中で、全国の水土里ネットでは、地域の人たちと一緒にになってさまざまな地域活動を展開する「21世紀土地改良区創造運動」に取り組んでいます。

＜水土里ネットさが土地 活動内容＞

1. 嘉瀬川右岸幹線水路推進協議会による一斉浚渫
2. 青空教室の開催
3. 佐賀平野「水と歴史」の探検隊開催
4. ホームページによる情報発信
5. 標語募集（ゴミ捨て防止啓発看板）
6. 川上頭首工スケッチ大会

1. 水路一斉浚渫 毎年4月下旬

水路清掃、草刈りなど、市町村、地域住民との連携



- 嘉瀬川右岸地区一斉浚渫 参加者 約5,000名（農家約3,000名 非農家約2,000名）

（小城市・佐賀市）

この一斉浚渫・清掃作業は嘉瀬川右岸幹線水路推進協議会（昭和42年発足で組織団体は嘉瀬川右岸2市と佐賀土地改良区）で行なわれ、この地区は昔から水に苦労してきた歴史があります。最近では新興住宅が増加している中、水に対する町民意識の高揚を図るため、各市の市民運動として一斉参加を呼びかけ今日では定着しています。

浚渫作業（三日月町）



草刈り及び浚渫作業（牛津町）



浚渫作業（芦刈町）



2. 『青空教室』の開催

・『青空教室』 小学校の総合学習

小学生の総合学習の一環として、地元JAの協力により田植えの体験学習を行いました。その中で「青空教室」を開催し、水土里ネットさがと合同でダムから頭首工、水路への水の流れや土地改良区の役割等についての理解を深めてもらいました。また秋には稲刈り体験を行っています。



▲ 小学生による田植え



▲ 「青空教室」開催



▲ 稲刈り体験

3. 佐賀平野「水と歴史」の探検隊開催

毎年8月中旬

佐賀平野「水と歴史」の探検隊 (対象：小学生高学年と保護者)

小学生とその保護者を対象に、「探検」と「体験」という形で北山ダムや川上頭首工、石井樋の施設見学会を開催しています。この企画は「さが農村のよさ発掘・醸成事業及び、21世紀土地改良区創造運動」の一環として土地改良区の名前や役割を一般市民に知ってもらい、また佐賀の水の流れを学んでもらおうと夏休みを利用して毎年8月に行っているものです。アンケート結果では佐賀土地改良区の名前をこの企画を通して初めて知った人も多く、佐賀の水に興味、関心をもってもらえたようです。

北山ダム監査廊探検



石井樋見学



石井樋のしくみ
(疎導要書より)



船に乗り湖面の巡視

川上頭首工探検



北部九州土地改良調査管理事務所の協力による
生き物調査

4. ホームページによる情報発信



水土里ネットさが土地の組合員のみなさんへは毎年1回佐賀土地改良区だよりを発行しています。また一般市民のみなさんにも情報を提供するためホームページを開設しています。このホームページの目玉は今日の北山ダム情報ということで、北山ダムの状況（貯水量・貯水率及び貯水量グラフ）を毎日午前9時に更新しています。開設当時は700件/月程度でしたが、現在では3,000件/月以上にもなり効果が出てきているものと思っています。また各種イベントの応募や紹介なども随時ホームページ上に掲載しています。

URL <http://www.sa-tochi.jp/>
E-mail: info@sa-tochi.jp

5. 標語募集（ゴミ捨て防止啓発看板）

・ゴミ捨て防止標語募集

情操教育及び環境保全への理解 優秀作品を看板製作

対象小学校：水土里ネットさが土地の管内の小学校

当区管内の小学5・6年生を対象に、農業用水及び地域用水を流すための施設（幹線水路）へのゴミ捨て防止標語の募集を行い、優秀作品の標語を看板にして町内の水路沿いに立てることにより、地区の一般市民（大人）へ子供からのメッセージとしてゴミ問題に取り組んでいます。

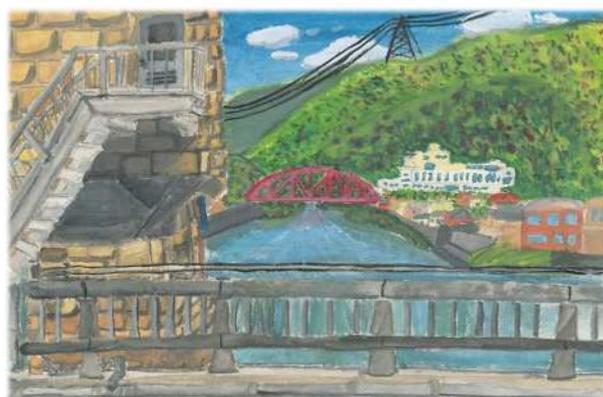


水路に
ゴミを捨てないでください！

6. 川上頭首工スケッチ大会

川上頭首工の役割や水の流れなどを、スケッチ大会を通して学んでもらうために、平成21年度より取り組んでいます。

管内の小学生を対象に、頭首工の見学をした後、スケッチ大会を行います。優秀作品については、パネルにして頭首工等の展示室に掲示しています。



◎平成15年度 21創造運動大賞受賞 ～ 地域協働フロンティア ～

平成15年10月に平成15年度21創造運動大賞〔地域協働フロンティア〕を受賞することが出来ました。今回の受賞は今まで当区が行ってきた5,000人規模の右岸協議会一斉浚渫や、ゴミ捨て防止標語募集、またホームページでの農業用水に関する情報提供が認められたものだと思います。この受賞を機に、より地域と密着した水土里ネットを目指していきたいと考えています。



◎大井手堰（石井樋～多布施川）が全国疏水百選に

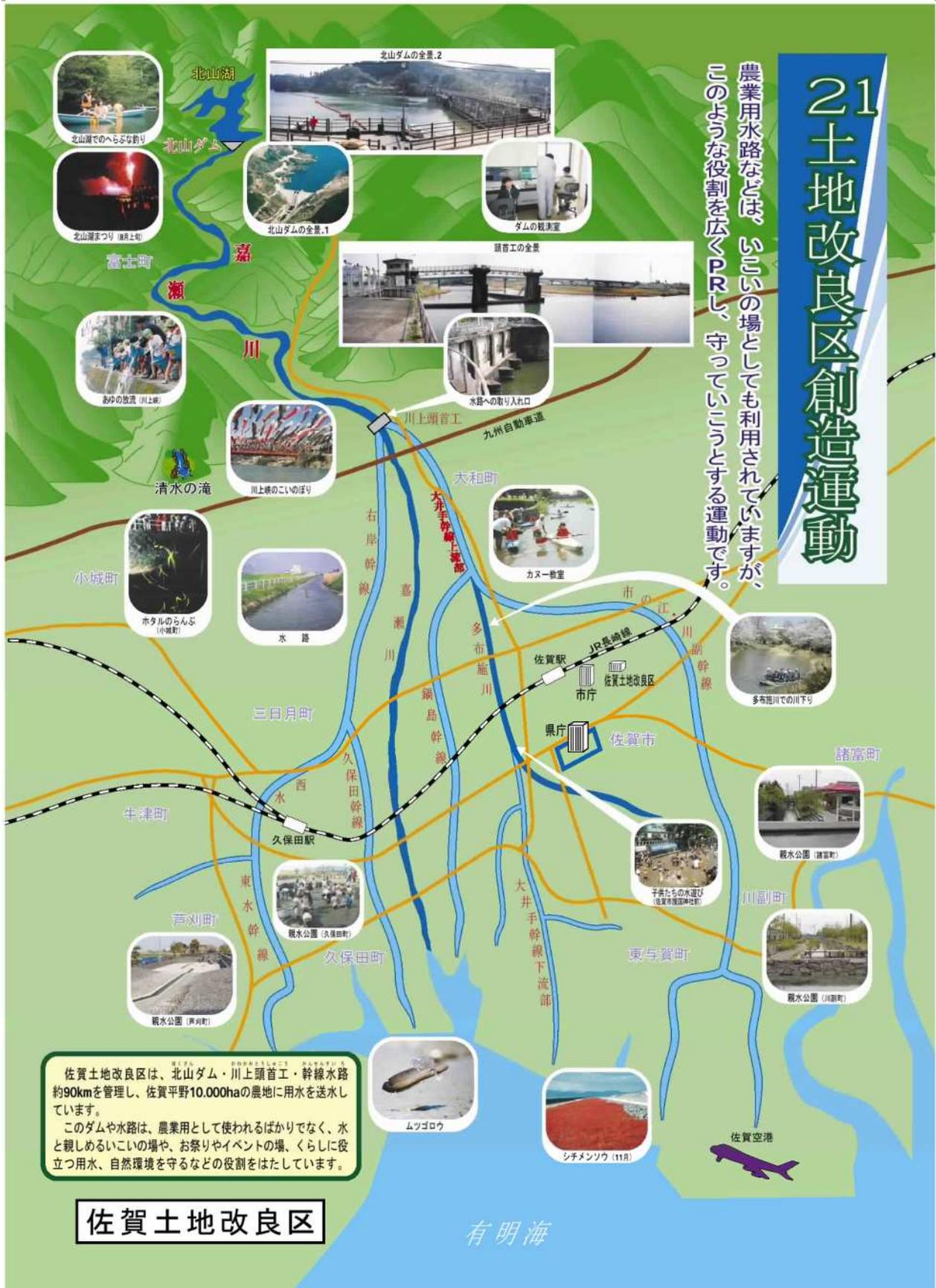
農林水産省では、日本の美しく豊かな“水・土・里”を育み、維持していくことが重要と考え、中でも農業のための用水をテーマとして「疏水百選」が実施されました。その一つに「大井手堰（石井樋～多布施川）」が認定され、その疏水を管理する「水土里ネットさが土地」が農林水産大臣より認定書を頂きました。



(疏水百選ホームページ <http://www.inakajin.or.jp/sosui/>)

21 土地改良区創造運動

農業用水路などは、いこいの場としても利用されていますが、
このような役割を広くPRし、守っていくとする運動です。



佐賀土地改良区は、北山ダム・川上頭首工・幹線水路約90kmを管理し、佐賀平野10,000haの農地に用水を送水しています。
このダムや水路は、農業用として使われるばかりでなく、水と親しめるいこいの場や、お祭りやイベントの場、くらしに役立つ用水、自然環境を守るなどの役割をはたしています。

佐賀土地改良区

水土里ネットさが土地 (佐賀土地改良区)
〒840-0811 佐賀県佐賀市大財3丁目8番15号
TEL (0952) 22-4382 FAX (0952) 29-1048
URL <http://www.sa-tochi.jp/>
E-mail info@sa-tochi.jp
(平成30年3月改訂版)

